



BNY MELLON
INVESTMENT MANAGEMENT

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限
運用方針	主に投資信託証券に投資を行い、安定的な分配金原資の獲得と信託財産の中長期的な成長を図ることを目指して運用を行うことを基本とします。
主要運用対象	ケイマン籍外国投資信託である「ニッポン・オフショア・ファンズ-エマージング・マーケット・サイケン・ファンド」(注)および国内籍証券投資信託である「マネーポートフォリオ・ファンド(適格機関投資家専用)」を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 同一銘柄の投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(原則として、毎月17日、休業日の場合は翌営業日)に、原則として、基準価額水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

(注) 本書において、「エマージング・マーケット・サイケン・ファンド」という場合があります。

BNYメロン・新興国 ソブリン・ファンド (円ヘッジ)

追加型投信／海外／債券

運用報告書(全体版)

第107期(決算日:2020年3月17日)
第108期(決算日:2020年4月17日)
第109期(決算日:2020年5月18日)
第110期(決算日:2020年6月17日)
第111期(決算日:2020年7月17日)
第112期(決算日:2020年8月17日)

受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「BNYメロン・新興国ソブリン・ファンド(円ヘッジ)」は、2020年3月17日に第107期、2020年4月17日に第108期、2020年5月18日に第109期、2020年6月17日に第110期、2020年7月17日に第111期、2020年8月17日に第112期決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内1丁目8番3号
丸の内トラストタワー本館

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

運用商品開発部

電話番号:03-6756-4600(代表)

受付時間:営業日の9:00~17:00

ホームページ <https://www.bnymellonam.jp/>

■最近5作成期の運用実績

	決算期	基準価額				(参考指数) J Pモルガン E M B I G l o b a l 指数 (円ヘッジベース)	投資信託 組入比率	純総資産額
		(分配落)	税 分 配	み 金	期 騰 落 中 率			
		円	円	円	%	%	%	百万円
第15作成期	83期(2018年3月19日)	8,041	50	△ 0.0	320.72	△ 0.1	99.0	1,043
	84期(2018年4月17日)	7,970	50	△ 0.3	320.81	0.0	99.4	1,008
	85期(2018年5月17日)	7,643	50	△ 3.5	311.23	△ 3.0	99.1	902
	86期(2018年6月18日)	7,525	50	△ 0.9	307.87	△ 1.1	99.2	876
	87期(2018年7月17日)	7,591	50	1.5	313.44	1.8	99.0	832
	88期(2018年8月17日)	7,385	50	△ 2.1	308.18	△ 1.7	99.0	732
第16作成期	89期(2018年9月18日)	7,343	20	△ 0.3	307.72	△ 0.2	99.1	694
	90期(2018年10月17日)	7,314	20	△ 0.1	308.35	0.2	99.4	651
	91期(2018年11月19日)	7,191	20	△ 1.4	303.44	△ 1.6	99.0	604
	92期(2018年12月17日)	7,241	20	1.0	306.62	1.0	99.2	580
	93期(2019年1月17日)	7,333	20	1.5	312.27	1.8	99.1	573
	94期(2019年2月18日)	7,426	20	1.5	318.21	1.9	99.0	553
第17作成期	95期(2019年3月18日)	7,432	20	0.4	321.36	1.0	99.1	551
	96期(2019年4月17日)	7,453	20	0.6	322.92	0.5	99.1	550
	97期(2019年5月17日)	7,437	20	0.1	323.28	0.1	98.1	548
	98期(2019年6月17日)	7,514	20	1.3	329.03	1.8	99.1	546
	99期(2019年7月17日)	7,677	20	2.4	334.16	1.6	98.8	558
	100期(2019年8月19日)	7,611	20	△ 0.6	336.48	0.7	99.3	550
第18作成期	101期(2019年9月17日)	7,592	20	0.0	334.22	△ 0.7	99.2	535
	102期(2019年10月17日)	7,547	20	△ 0.3	335.39	0.4	99.1	529
	103期(2019年11月18日)	7,518	20	△ 0.1	334.53	△ 0.3	99.1	523
	104期(2019年12月17日)	7,583	20	1.1	338.38	1.1	98.3	517
	105期(2020年1月17日)	7,683	20	1.6	343.33	1.5	99.1	505
	106期(2020年2月17日)	7,717	20	0.7	347.49	1.2	99.2	503
第19作成期	107期(2020年3月17日)	6,804	20	△11.6	306.05	△11.9	99.0	436
	108期(2020年4月17日)	6,751	20	△ 0.5	302.83	△ 1.1	99.2	432
	109期(2020年5月18日)	6,859	20	1.9	311.48	2.9	99.1	436
	110期(2020年6月17日)	7,210	20	5.4	330.42	6.1	98.2	457
	111期(2020年7月17日)	7,349	20	2.2	336.06	1.7	99.0	463
	112期(2020年8月17日)	7,515	20	2.5	345.59	2.8	98.9	468

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。海外の指数は現地前営業日の終値を採用しています。

■当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		(参考指数) J P モルガン E M B I G l o b a l 指数 (円ヘッジベース)		投資信託 組 入 比 率
			騰 落 率		騰 落 率	
第107期	(期首) 2020年2月17日	円 7,717	% -	347.49	% -	% 99.2
	2月末	7,660	△ 0.7	344.44	△ 0.9	99.1
	(期末) 2020年3月17日	6,824	△11.6	306.05	△11.9	99.0
第108期	(期首) 2020年3月17日	6,804	-	306.05	-	99.0
	3月末	6,592	△ 3.1	295.94	△ 3.3	99.0
	(期末) 2020年4月17日	6,771	△ 0.5	302.83	△ 1.1	99.2
第109期	(期首) 2020年4月17日	6,751	-	302.83	-	99.2
	4月末	6,667	△ 1.2	301.90	△ 0.3	99.3
	(期末) 2020年5月18日	6,879	1.9	311.48	2.9	99.1
第110期	(期首) 2020年5月18日	6,859	-	311.48	-	99.1
	5月末	7,100	3.5	322.68	3.6	99.0
	(期末) 2020年6月17日	7,230	5.4	330.42	6.1	98.2
第111期	(期首) 2020年6月17日	7,210	-	330.42	-	98.2
	6月末	7,257	0.7	331.09	0.2	98.9
	(期末) 2020年7月17日	7,369	2.2	336.06	1.7	99.0
第112期	(期首) 2020年7月17日	7,349	-	336.06	-	99.0
	7月末	7,475	1.7	342.03	1.8	99.4
	(期末) 2020年8月17日	7,535	2.5	345.59	2.8	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。海外の指数は現地前営業日の終値を採用しています。

◆基準価額の推移

当作成期の期中騰落率は $\Delta 1.0\%$ （分配金再投資ベース）となりました。

◆基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・2020年4月以降、新型コロナウイルスの感染拡大傾向が続く中、主要先進国が緊急景気対策が奏功し経済再開に向けた動きがみられたためリスク資産市場が回復したこと

(下落要因)

- ・2020年3月、新型コロナウイルスの感染拡大と原油価格の急落を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、新興国債券市場が大幅に下落したこと

◆市場概況

当作成期、米ドル建て新興国債券指数であるJPモルガンEMBI Global指数（円ヘッジベース）の騰落率は $\Delta 0.55\%$ となりました。日本円は対米ドルで 2.98% 上昇しました。

2020年2月下旬から3月にかけて新型コロナウイルスの感染拡大がグローバル経済に深刻なダメージを与え始めたことに加え、産油国間の減産交渉が決裂して原油価格が急落したことなどからリスク資産市場が大幅な下落に見舞われ、新興国債券市場は大幅安となりました。4月以降もウイルスの感染拡大は続きましたが、欧米先進国を中心に積極的な金融緩和と財政政策が導入されて経済再開に向けた動きが段階的に進展したため、金融市場は徐々に落ち着きを取り戻し、新興国債券市場もパフォーマンスが回復しました。



◆運用概況

当ファンドは、「エマージング・マーケット・サイケン・ファンド」及び「マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）」に対する投資を行い、期を通じて「エマージング・マーケット・サイケン・ファンド」の組入比率を高位に保ちました。

以下は「エマージング・マーケット・サイケン・ファンド」の運用の概況です。

国別配分

投資国については、多くの国に分散させることを留意しつつ、比較的流動性が良好な中国やメキシコの配分を高め維持しました。

銘柄選定

組入れ銘柄の選定は、投資対象国の経済情勢、財政の健全性、政治情勢、個別銘柄の格付け、利回り水準、デュレーションなど多くの要因について詳細な分析を行うとともに、ポートフォリオ全体の観点からみて投資魅力度の高い銘柄を選定しました。当作成期末時点における組入れ上位3銘柄は、ロシア開発対外経済銀行、中国石油化工集团公司、アリババ・グループ・ホールディング（中国）となりました。

◆収益分配

当作成期中の収益分配については、基準価額水準等を勘案し、毎月20円（税込み）、合計120円の分配を行いました。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用致します。

■分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2020年2月18日～ 2020年3月17日	2020年3月18日～ 2020年4月17日	2020年4月18日～ 2020年5月18日	2020年5月19日～ 2020年6月17日	2020年6月18日～ 2020年7月17日	2020年7月18日～ 2020年8月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.293%	20 0.295%	20 0.291%	20 0.277%	20 0.271%	20 0.265%
当期の収益	15	16	20	20	20	20
当期の収益以外	4	3	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,151	1,147	1,150	1,153	1,155	1,157

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針

当ファンドでは、引き続きファンドの基本方針に則り、「エマージング・マーケット・サイケン・ファンド」を高位に組み入れた運用を行います。

「エマージング・マーケット・サイケン・ファンド」の実質的な運用は、メロン・インベストメンツ・コーポレーションに委託し、主として米ドル建て新興国債券に対する投資を行うとともに、米ドル建ての資産に関しては日本円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ってまいります。

■ 1 万口当たりの費用明細

(2020年2月18日～2020年8月17日)

項 目	第107期～第112期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 36	% 0.509	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、7,125円です。
(投信会社)	(8)	(0.109)	信託財産の運用指図、法定開示書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(27)	(0.383)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	信託財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	8	0.113	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(6)	(0.085)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(2)	(0.027)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	金融商品取引に要する諸費用
合 計	44	0.622	

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

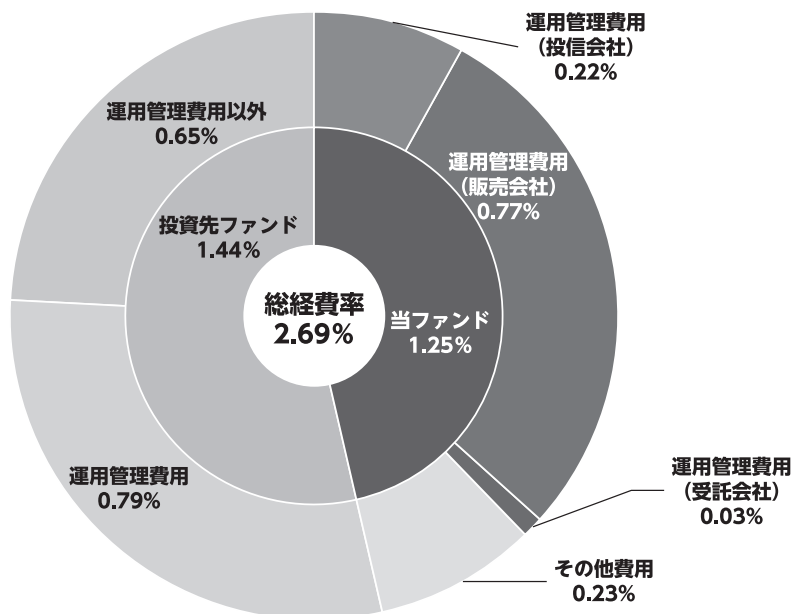
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.69%です。



総経費率 (①+②+③)	2.69%
①当ファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.79%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.65%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■ 売買及び取引の状況
投資信託証券

(2020年2月18日～2020年8月17日)

銘 柄		第107期～第112期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千円	千円	千円	千円
国内	マネーポートフォリオ・ファンド (適格機関投資家専用)	—	—	775,959	770
外国	エマージング・マーケット・サイケン・ファンド	—	—	29,973,337	23,190
合 計		—	—	30,749,296	23,960

(注) 金額は受け渡し代金。
(注) 単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等

(2020年2月18日～2020年8月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細

(2020年8月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		第106期末	第112期末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千円	千円	千円	%
	マネーポートフォリオ・ファンド (適格機関投資家専用)	5,481,959	4,706,000	4,667	1.0
	エマージング・マーケット・サイケン・ファンド	612,710,144	582,736,807	458,555	97.9
合 計		618,192,103	587,442,807	463,223	98.9

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

■ 投資信託財産の構成

(2020年8月17日現在)

項 目	第112期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	463,223	98.5
コール・ローン等、その他	6,943	1.5
投資信託財産総額	470,166	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末
	2020年3月17日現在	2020年4月17日現在	2020年5月18日現在	2020年6月17日現在	2020年7月17日現在	2020年8月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	438,552,660	435,765,683	437,741,075	459,506,672	465,422,093	470,166,200
コール・ローン等	6,338,476	6,682,698	5,612,499	4,861,872	6,650,343	4,493,197
投資信託受益証券(評価額)	432,214,184	429,082,985	432,128,576	449,734,800	458,771,750	463,223,003
未収入金	—	—	—	4,910,000	—	2,450,000
(B) 負債	1,766,534	3,051,477	1,731,370	1,735,446	2,037,244	1,742,464
未払収益分配金	1,283,952	1,281,887	1,271,285	1,269,896	1,261,122	1,246,603
未払解約金	—	1,317,900	—	—	304,392	3,332
未払信託報酬	396,840	367,537	375,532	380,699	386,534	406,340
その他未払費用	85,742	84,153	84,553	84,851	85,196	86,189
(C) 純資産総額(A-B)	436,786,126	432,714,206	436,009,705	457,771,226	463,384,849	468,423,736
元本	641,976,154	640,943,821	635,642,666	634,948,087	630,561,359	623,301,876
次期繰越損益金	△205,190,028	△208,229,615	△199,632,961	△177,176,861	△167,176,510	△154,878,140
(D) 受益権総口数	641,976,154口	640,943,821口	635,642,666口	634,948,087口	630,561,359口	623,301,876口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,804円	6,751円	6,859円	7,210円	7,349円	7,515円

(注) 当ファンドの第107期首元本額は652,293,722円、第107～112期中追加設定元本額は3,002,807円、第107～112期中一部解約元本額は31,994,653円です。

(注) 期末の1口当たり純資産額は、第107期0.6804円、第108期0.6751円、第109期0.6859円、第110期0.7210円、第111期0.7349円、第112期0.7515円です。

■損益の状況

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2020年2月18日～ 2020年3月17日	2020年3月18日～ 2020年4月17日	2020年4月18日～ 2020年5月18日	2020年5月19日～ 2020年6月17日	2020年6月18日～ 2020年7月17日	2020年7月18日～ 2020年8月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,505,124	1,501,903	1,493,149	1,493,149	1,476,186	1,464,594
受取配当金	1,505,124	1,501,903	1,493,149	1,493,149	1,476,186	1,464,594
(B) 有価証券売買損益	△ 58,335,117	△ 3,127,112	7,112,722	22,460,758	9,031,771	10,639,505
売買益	2,709	4,087	9,376,978	25,638,231	9,038,092	15,766,867
売買損	△ 58,337,826	△ 3,131,199	△ 2,264,256	△ 3,177,473	△ 6,321	△ 5,127,362
(C) 信託報酬等	△ 482,738	△ 451,878	△ 460,246	△ 465,690	△ 471,909	△ 492,746
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 57,312,731	△ 2,077,087	8,145,625	23,488,217	10,036,048	11,611,353
(E) 前期繰越損益金	△150,362,579	△208,329,194	△209,934,497	△202,489,459	△178,904,216	△168,022,157
(F) 追加信託差損益金	3,769,234	3,458,553	3,427,196	3,094,277	2,952,780	2,779,267
(配当等相当額)	(67,647,834)	(67,547,869)	(66,989,258)	(66,926,609)	(66,468,436)	(65,709,244)
(売買損益相当額)	(△ 63,878,600)	(△ 64,089,316)	(△ 63,562,062)	(△ 63,832,332)	(△ 63,515,656)	(△ 62,929,977)
(G) 計(D+E+F)	△203,906,076	△206,947,728	△198,361,676	△175,906,965	△165,915,388	△153,631,537
(H) 収益分配金	△ 1,283,952	△ 1,281,887	△ 1,271,285	△ 1,269,896	△ 1,261,122	△ 1,246,603
次期繰越損益金(G+H)	△205,190,028	△208,229,615	△199,632,961	△177,176,861	△167,176,510	△154,878,140
追加信託差損益金	3,769,234	3,458,553	3,427,196	3,094,277	2,952,780	2,779,267
(配当等相当額)	(67,647,834)	(67,547,869)	(66,989,258)	(66,926,609)	(66,468,436)	(65,709,244)
(売買損益相当額)	(△ 63,878,600)	(△ 64,089,316)	(△ 63,562,062)	(△ 63,832,332)	(△ 63,515,656)	(△ 62,929,977)
分配準備積立金	6,269,299	6,018,533	6,110,685	6,287,753	6,388,836	6,468,077
繰越損益金	△215,228,561	△217,706,701	△209,170,842	△186,558,891	△176,518,126	△164,125,484

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第107期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,022,386円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(67,647,834円)および分配準備積立金(6,530,865円)より分配対象収益は75,201,085円(1万口当たり1,171円)であり、うち1,283,952円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(注) 第108期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,050,025円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(67,547,869円)および分配準備積立金(6,250,395円)より分配対象収益は74,848,289円(1万口当たり1,167円)であり、うち1,281,887円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(注) 第109期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,413,296円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(66,989,258円)および分配準備積立金(5,968,674円)より分配対象収益は74,371,228円(1万口当たり1,170円)であり、うち1,271,285円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(注) 第110期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,464,137円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(66,926,609円)および分配準備積立金(6,093,512円)より分配対象収益は74,484,258円(1万口当たり1,173円)であり、うち1,269,896円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(注) 第111期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,409,883円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(66,468,436円)および分配準備積立金(6,240,075円)より分配対象収益は74,118,394円(1万口当たり1,175円)であり、うち1,261,122円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

(注) 第112期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,404,972円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(65,709,244円)および分配準備積立金(6,309,708円)より分配対象収益は73,423,924円(1万口当たり1,177円)であり、うち1,246,603円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
1 万口当たり分配金 (税込み)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日の基準価額に基づいて、税引後無手数料でみなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

■お知らせ

約款変更のお知らせ

BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社は、2020年4月1日をもって商号を「BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社」に変更いたしました。これに伴う約款変更を行いました。(2020年4月1日付)

運用報告書を掲載するホームページのアドレスの変更を行いました。(2020年5月15日付)

<エマーシング・マーケット・サイケン・ファンドの状況>

主要投資対象であるエマーシング・マーケット・サイケン・ファンドの本書作成時点で開示されている直近の会計年度末である2020年1月末の費用の明細は下記のとおりです。

■費用の明細

損益計算書および純資産変動計算書
(2020年1月31日に終了した会計年度)

	米ドル
収益	
債券にかかる利息	254,364.16
預金利息	2,307.40
その他収益	800.00
収益合計	257,471.56
費用	
管理報酬	24,271.91
専門家費用	19,392.71
印刷公告費	11,499.16
受託会社報酬	9,935.47
管理事務代行報酬	2,911.52
保管費用	1,939.20
取引手数料	1,548.08
法律費用	490.41
保護預り費用	333.94
その他費用	331.24
費用合計	72,653.64
投資純利益	184,817.92
実現純損益	
為替予約取引による利益	70,159.60
為替取引による利益	2,649.73
投資有価証券による損失	(66,461.89)
当期実現純利益	191,165.36
未実現損益の純変動	
投資有価証券による評価益	404,148.90
為替予約取引による評価損	(221,664.72)
運用による純資産の純増加額	373,649.54
資本の変動	
受益証券発行額	32,853.67
受益証券買戻額	(774,839.33)
資本の純変動額	(741,985.66)
分配	(186,297.56)
当期首純資産額	5,073,621.21
当期末純資産額	4,518,987.53

■組入有価証券明細（2020年1月31日現在）・監査済

額面	銘柄名	通貨	取得原価	時価	比率*
公認の証券取引所への上場が認められている、または他の規制ある市場で取引されている譲渡性のある有価証券					
A. 債券			米ドル	米ドル	%
200,000	ALIBABA GROUP HOLD 4.2 06DEC47	USD	199,662.00	234,562.02	5.19
30,000	ARGENTINA REP 8.28 31DEC33 USDDIS	USD	48,987.03	23,385.99	0.52
115,000	ARGENTINA REP OF 5.625 26JAN22	USD	98,414.22	57,097.50	1.26
170,000	DVPT BK OF KAZAK 4.125 10DEC22 REGS	USD	168,799.36	177,551.40	3.93
60,000	ECOPETROL SA 4.125 16JAN25	USD	58,350.00	63,750.00	1.41
30,000	ECOPETROL SA 5.875 28MAY45	USD	33,540.00	35,778.90	0.79
200,000	ECUADOR REP OF 10.75 31JAN29 REGS	USD	215,700.00	184,752.00	4.09
10,000	EL SALVADOR REP 6.375 18JAN27 REGS	USD	10,450.00	10,900.10	0.24
20,000	EL SALVADOR REP 7.65 15JUN35 REGS	USD	20,500.00	23,150.20	0.51
200,000	KAZTRANS GAS JSC 4.375 26SEP27 REGS	USD	199,598.00	213,531.20	4.73
200,000	MEXICAN UNITED STATES 4.5 22APR29	USD	198,764.00	223,502.00	4.95
118,000	MEXICAN UTD STATES 4.75 08MAR44	USD	108,562.52	135,346.00	3.00
200,000	OMAN GOV INTL BD 5.625 17JAN28 REGS	USD	188,750.00	207,168.00	4.58
200,000	PERUSAHAAN PENERB 4.4 01MAR28 REGS	USD	200,418.00	220,500.00	4.88
140,000	PETROBRAS GLOBAL FIN 6.90 19MAR49	USD	140,000.00	170,591.40	3.77
120,000	PETROLEOS MEX 5.35 12FEB28	USD	116,589.67	121,201.20	2.69
84,000	PETROLEOS MEXICAN 7.69 23JAN50 REGS	USD	82,646.55	92,559.60	2.05
200,000	SENEGAL REPUBLIC 6.25 23MAY33 REGS	USD	185,125.00	213,266.00	4.72
260,000	SINOPEC GP OVERS 3.25 28APR25 REGS	USD	254,111.00	272,204.40	6.02
200,000	SOUTHERN GAZ COR 6.875 24MAR26 REGS	USD	229,100.00	239,064.80	5.29
95,000	TURKEY REP OF 6.875 17MAR36	USD	90,273.60	105,212.50	2.33
60,000	TURKEY REP OF 7.375 05FEB25	USD	60,643.00	67,610.04	1.50
100,000	UKRAINE GOVT 7.75 01SEP24 SER REGS	USD	103,210.00	111,375.00	2.46
25,000	UKRAINE GOVT FRN 31MAY40 SER GDP	USD	15,725.00	24,781.25	0.55
45,000	URUGUAY REPUBLIC OF 4.375 23JAN31	USD	47,088.25	51,502.50	1.14
40,000	URUGUAY REPUBLIC OF 4.975 20APR55	USD	47,400.00	49,250.40	1.09
235,000	VNESHECONOMBANK 6.8 22NOV25 REGS	USD	251,364.28	281,732.10	6.23
	債券合計		3,373,771.48	3,611,326.50	79.92

額面	銘柄名	通貨	取得原価	時価	比率*
B. ミディアム・ターム・ノート			米ドル	米ドル	%
200,000	MDC GMTN BV 4.5 07NOV28 REGS	USD	199,172.00	228,876.80	5.06
200,000	MUMTALAKAT SUKUK 5.625 27FEB24	USD	200,800.00	213,420.00	4.72
200,000	PERTAMINA PERSER 5.625 20MAY43 REGS	USD	237,240.00	234,585.16	5.19
200,000	PERUSAHAAN LIS 4.375 05FEB50 REGS	USD	199,134.00	205,750.00	4.55
200,000	SAUDI INTER BOND 4.375 16APR29 REGS	USD	198,156.00	228,052.00	5.05
ミディアム・ターム・ノート合計			1,034,502.00	1,110,683.96	24.57
公認の証券取引所への上場が認められている、または他の規制ある市場で取引されている譲渡性のある有価証券合計			4,408,273.48	4,722,010.46	104.49
投資有価証券合計			4,408,273.48	4,722,010.46	104.49

(*) 百分率で表示された純資産総額に対する時価比率

<マネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）の状況>

主要投資対象であるマネーポートフォリオ・ファンド（適格機関投資家専用）の決算は、年1回（毎年1月）です。以下は直近の決算期末である2020年1月17日現在の状況です。

■ 1万口当たりの費用明細

（2019年1月18日～2020年1月17日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬	3	0.033	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、9,940円です。
（投信会社）	(2)	(0.021)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(1)	(0.007)	口座内でのファンドの管理
（受託会社）	(1)	(0.005)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.036	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（その他）	(4)	(0.036)	金融商品取引に要する諸費用
合 計	7	0.069	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

■ 組入資産の明細

（2020年1月17日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネーポートフォリオ・マザーファンド	千口 197,569	千口 163,526	千円 163,052

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2020年1月17日現在)

<マネーポートフォリオ・マザーファンド>

下記は、マネーポートフォリオ・マザーファンド全体(163,526千口)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	100,000	100,071	61.4	—	—	—	61.4
	(100,000)	(100,071)	(61.4)	(—)	(—)	(—)	(61.4)
合 計	100,000	100,071	61.4	—	—	—	61.4
	(100,000)	(100,071)	(61.4)	(—)	(—)	(—)	(61.4)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) ー印は組み入れなし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券		%	千円	千円	
第880回国庫短期証券		—	100,000	100,071	2020/7/10
小	計		100,000	100,071	
合	計		100,000	100,071	

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。